



★地域センターからのお・し・う・せ★



☆アウトリー型活動「リーベ フラウンコールあだち」

1月31日、ケアセンターさん主催の交流会に呼んでいただき、女声コーラス「リーベ・フラウンコールあだち」さんと一緒に、島根にある「ケアセンターつどい島根」を訪問させていただきました。代表者の三田さんは「今日は一緒に歌ってくれる方がいると聞いてやって来ました。」というご挨拶のとおりテーマは“みんなで歌いましょう！”♪きっとしあわせ、松田聖子の♪瑠璃色の地球の2曲をご披露していただいた後すぐに、リーベさんたちは利用者さんの隣に行き、誰もが知っている懐かしい歌、♪おぼろ月夜、♪めだかの学校、♪里の秋・・・♪青い山脈と一緒に合唱していただきました。利用者さんだけなく、職員さんもとっても大きな歌声でご参加いただき、舞台でリーベさんとの“混声合唱団”も特別にご披露していただきました。さらに、職員さんだけのオステージが続き、昼間から宴会のような盛り上がりでした！楽しい時間はあっという間に過ぎて行き、最後はリーベさんと利用者さん職員さんの全員で記念撮影で終了。まるで少女のような透き通ったアンサンブルで魅了してくれました「リーベフラウンコールあだち」さん、どうもありがとうございました。

お・し・う・せ

お・し・う・せ

利用者さんとのふれあいタイム



職員さんだけでオンパレード♪

リーベさんと職員さんの混声合唱！



☆アウトリー型活動「東京足立相撲甚句会 中央」

2月3日、東京足立相撲甚句会中央さん（以降、甚句会さん）と一緒に、六月町の「ゆうあいの郷六月」さんを訪問させていただきました。

午後2時、拍子木の音とともにお揃いの法被をまとい、男女総勢10名の甚句会さんが登場。享保年間から伝わる相撲にまつわる伝統唄“相撲甚句”を、さっそくご披露していただきました。続いて、力士が奈良の大仏をぶら下げて東海道をひとまたぎにする♪夢を熱唱。2曲のオープニングの後、講師の林さんより相撲甚句の歴史や説明がありました。「楽器の伴奏が一切ないので、あーどすこい、どすこい。という掛け声“合いの手”がすごく重要なんです。みなさんも声と手でご参加ください！」すると、合いの手の練習では、なんと利用者さん全員が大きく手をあげ、大きな声で「あーどすこい、どすこい！」続く数曲の相撲甚句で、甚句会さんと一緒に“熱唱”していただきました。楽しい一時はあっという間に終わり、アンコールでは、足立の名所がたくさん詰まった♪足立名所甚句で幕を閉じました。魂の入った力強い相撲甚句のご披露は、利用者さんの心にしっかりと響き渡りました。

☆千手の絆 キャンドルナイトプロジェクト

2月4日（土）、東京藝術大学千住キャンパスで行われたワークショップ「千手の絆キャンドルを作ろう」に行ってきました。出来上がったキャンドルは、東日本大震災で犠牲になった方々のご冥福・復興への願いを込めて3月30日（金）のエキシビションで点灯されます。祈りを表すキャンドルは両手を合わせた形。1月～3月で14回開催されるワークショップで、500人分の両手（千手）のキャンドルを作ります。各回定員40名が1月中に満員になるという人気でした。藝大の第六回目のアートプロジェクトである今回のイベントですが、残念ながら今年で最後。本当に「特別な思い」での開催と、藝大の畠先生は語られました。両手を思い思いの形に合わせ、型取り。ドロドロの液が固まるまで手を入れたまま3分間じっとしています。子どもたちには大変な作業でしたが、みんな頑張っていました。手を抜きとて出来上がった型の中に溶かしたロウを流し込み、固まるまで冷やします。待っている間は透明なプラスチック板で風よけのとうろう作り。側面にみなさんそれぞれ絵やメッセージを描きました。「みんなで手をつなごう」「福島復興」「笑う顔 笑う心」・・・素敵なうううの中に固まったキャンドルを入れて完成！廊下にずらりと並べられた完成品はとても綺麗でした。これが500個並んで火が灯る様子は、想像しただけでわくわくします。参加者のみなさんには本当に楽しそうにキャンドル作りに取り組み、とても良い顔で帰っていました。渡辺講師の「みんなさんがアートになるきっかけになれば」という思いはしっかり届いていたようです。

講師の説明を真剣に聞くみなさん



千手の絆
キャンドルナイト

【開催日時】

3月30日（金）
18:00～20:00

【場所】

北千住駅東口
交通広場（整備中）

★500人の両手（千手）
の形のキャンドルに、願い
を込めて火を灯します。
ぜひ、ご参加ください！